

『消防設備士第1類 令和6年 下巻』
 に関するお詫びと訂正のご案内




『消防設備士第1類 令和6年 下巻』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくようお願い申し上げます。

初 版

P97 【2】【3】 ▶▶正解&解説	誤	【2】正解 A：長ニップル（ニップル） B：径違いエルボ C：ストレートエルボ D：クロス
	正	【2】正解 A：長ニップル（ニップル） B：径違いエルボ C：ストリートエルボ D：クロス
	誤	【3】正解 C：正名称…プラグ E：正名称…ストレートエルボ G：正名称…ユニオン H：正名称…クロス
	正	【3】正解 C：正名称…プラグ E：正名称…ストリートエルボ G：正名称…ユニオン H：正名称…クロス
P98 【3】 ▶▶正解&解説	誤	Eのストレートエルボは、一端におねじがあり、他端にめねじがある。一方、エルボは両端にめねじがある。
	正	Eのストリートエルボは、一端におねじがあり、他端にめねじがある。一方、エルボは両端にめねじがある。
P160 【3】	誤	2. パドル型流水検知装置の断面図を次のA～Cから選び記号で答えなさい。
	正	2. パドル型流水検知装置の断面図を次のA～Cから選び記号で答えなさい。

P188 【1】 ▶▶正解&解説	誤	<p>[設問3 正解]</p> <p>適・不適… [適]</p> <p>理由…定格点におけるポンプ全揚程が39m以上で、かつ、吐出量が300L/min以上のため。</p> <p>◇ポンプの吐出量（定格吐出量320L/min）は、nに150L/minを乗じて得た量（300L/min）以上の量とすること（以下、規則12条7号ハ）。</p> <p>◇ポンプの全揚程（定格全揚程40m）は、次の式（省略）により求めた値（39m）以上の値とすること。</p>		
	正	<p>[設問3 正解]</p> <p>適・不適… [不適]</p> <p>理由…ポンプの吐出量が定格吐出量の150%である場合（480L/min）における全揚程が、定格全揚程の65%（26m）以上でないため。</p> <p>◇ポンプの吐出量（定格吐出量320L/min）は、nに150L/minを乗じて得た量（300L/min）以上の量とすること（以下、規則12条7号ハ）。</p> <p>◇ポンプの全揚程（定格全揚程40m）は、次の式（省略）により求めた値（39m）以上の値とすること。</p> <p>◇以上、2つの基準は満たしているが、正解の理由で示す基準は満たしていない。（追加）</p>		
P207 【1】	誤	2. 設問1の計算式において、 h_1 、 h_2 及び h_3 は、消防法令上、 <u>どのように</u> 表されているか、それぞれ答えなさい。		
	正	2. 設問1の計算式において、 h_1 、 h_2 及び h_3 は、消防法令上、 <u>どの</u> ように表されているか、それぞれ答えなさい。		
P213 【1】 凡例	追加	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>手動式開放弁</td> </tr> </table> <p>(↑凡例に追加)</p>		手動式開放弁
	手動式開放弁			
P216 【1】 凡例	誤	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">-----</td> <td>配管</td> </tr> </table>	-----	配管
	-----	配管		
正	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">-----</td> <td>配線</td> </tr> </table>	-----	配線	
-----	配線			